

会 議 録

会議名 (審議会等名)		市役所さくら通り(市道市役所前通)道路改良検討会				
事務局 (担当課)		土木政策課 電話042-769-8374(直通)				
開催日時		平成27年5月13日(水) 10時00分~12時00分				
開催場所		相模原市役所 本館 2階 第1特別会議室				
出席者	委員	9人(別紙のとおり)				
	その他	8人(中央土木事務所、中央区役所地域振興課、本庁地域まちづくりセンター、商業観光課、相模原警察署)				
	事務局	5人(土木政策課長、他4人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	1人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1. 開会 2. 議題 (1) 整備の方針(案)について 3. その他				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員の発言、 は会長の発言、 は事務局の発言)

1. 開 会

2. 議事

(1) 整備の方針(案)について

整備の方針(案)について、事務局より説明。

主な意見

この検討会で議論したことが形になるのは何年先の話なのか。また、今後どのように進めていくのか確認したい。

今年度の検討会では、整備に関する大きな考え方として整備方針を決めたいと思っている。その間に、できるところから地元との調整も行っていきたい。つきましては、今年度中に整備の方針を固め、平成 29 年度までに計画図を作成することを目標に考えている。

今回ご提示いただいた側道をなくした案は、非常に良い案だと思うが、自転車道が 2m というのは狭いのではないか。また、郵便局は車を停めるスペースがないと非常に苦情が出ると思う。駐車場の確保について考える必要がある。

イメージ図では、サクラやケヤキの根元は土のみとなっている。サツキ等の灌木があると、落ち葉が舞ったり、雑草を防ぐ効果があり、サクラにとっても良いことならば、灌木の植栽をしていただきたい。ケヤキの植栽柵も、防草処理等の対応を図った方が良いと思う。

また、落ち葉は、植栽帯に溜めておくことで堆肥となり街路樹に対してもいいと思う。

全線側道廃止という非常に良い案が出たが、実際本当にできるのかという心配はある。相模原署前交差点～税務署入口交差点までは公共施設が多いので整備は可能だと思うが、税務署入口交差点～横山二丁目交差点までは難しい気もする。側道をなくした形にするのが一番良いことだと思うが、できない場合はどうするのか検討する必要がある。

代替の出入り口がある場合は、さくら通りに面する車の出入り口を閉鎖するという提案をされているが、裏口の交通量が増えることによりその他の道路の危険性が高まるということも考えていただけたら、より安全な方針になると思う。

国道 16 号の自転車道の整備と同様に、市役所さくら通りも自転車道が整備されればとても良いと思う。国道 16 号は中央分離帯があるので、車は一方からし

か沿道に進入しないため交通の流れがスムーズだが、市役所さくら通りでは、車は両方向から沿道に進入できることから、少し危険な部分もあると思う。また、荷捌きスペースは必要である。

現在より歩道が広がるが、商業者の立場からすると、広くなった歩道をどのように利用でき、街を活性化させることができるかというところが気になる。例えば、オープンカフェ等の利用が考えられ、商業者と連携して歩行者空間を活用し、街を活性化していくことが大切だと思う。

ケヤキの根元については、国道 16 号で施されている防草処理は良い。

側道がない方が望ましいというみなさんの意見をいただいた。しかし、沿道土地利用の状況次第では、車の乗り入れ箇所が増える可能性があるなど、本当に全て側道をなくすことができるのかという懸念もあった。

駐車場の問題も検討していく必要があるという意見があり、周辺には時間制の駐車場も多数整備されているので、うまく連携していかないといけないと思う。

自転車道に関しては、自転車道を整備すると必ず縁石等で構造的に分離しなければいけないが、ここは市民まつりが開催されるので、平坦な広いフィールドも求められているという現状もある。そこについてはどのように考えるか。

自転車道の整備は非常にいいことだと思う。縁石は緊急車両の出入りを考慮するとできるだけ低くした方が良くと言われている。

今年の若葉まつりでは、縁石でつまづいている歩行者もいたので、できるだけ低いものにした方が良くのではないかなと思う。

縁石の形を検討すれば、つまづきも少なくなるのではないかな。まずは側道が無料の駐車場であるという認識を無くしてもらうことが大切だと思う。

側道がなくなったら郵便局の利用者はどうするのかということについては、周辺に 2 時間まで無料の駐車場があるためそこを利用すればいい。

駐車場として利用されている側道をなくすことによって公共交通が発展する可能性もある。

ウェルネス相模原の前等、側道を塞いでも影響のないところは少しずつ塞いでいくことを検討していただきたい。「側道はなくなるんだ」という意識を少しずつ高めていくのもいいのではないかな。

国道 16 号の自転車道のポールの設置方法が場所によって異なり、利用する側としては非常に使いにくい。道路もアスファルトやブロックなどが混在しているのは非常にバランスが悪いため、全体の統一感を考えてほしいと思う。

桜並木は、管理は大変かもしれないが、並木を維持できるような形で整備し

てほしい。

現状の沿道の出入りに関して、車の乗り入れの設置が必要な箇所と、他の出入口があり、市役所さくら通りに面している車の乗り入れ口は閉鎖が可能だと思われる箇所がある。

将来、土地利用の変更により新しく車の乗り入れを作らなければならなくなった場合は、自費工事での整備（街路樹の伐採や乗り入れの整備）を認めるかということについて意見を伺いたい。

認めざるを得ないだろうが、車の乗り入れが多くなると道路の利用形態が悪くなる。

車の乗り入れの箇所で自転車の速度を緩めるような形にして安全な通行環境の整備に留意してほしい。

自転車道を整備するとなると、歩道との間に縁石などの物理的構造物が必要になる。市民まつりでは、飲食関係の出店では縁石があっても支障はないように見えるが、輪投げや金魚すくい等の出店だと危ないと思う。意見を伺いたい。

ケヤキの両脇に歩道を設置するのは絶対なのか？自転車道、ケヤキの植栽柵、6mの歩道の順にすれば、縁石の問題は解決されるのではないか。

ケヤキの幹はかなり大きいので、それを移植するとなると、移植後根付かない可能性もある。基本的にはケヤキの位置を動かすことは不可能に近いが、補植しながら少しずつ移動させていく等の方法は考えられる。

相模原署前～税務署入口交差点と税務署入口～横山二丁目交差点で、市民まつりのときの出店の利用形態によって分けて考える必要はないのではないか。税務署入口交差点まではパレードがあるからこの形になっているのだと思うが、道路としては同じ条件なのだから、横山二丁目交差点まで全部同じでも良いと思う。

縁石の高さや形状を検討するか、または、視覚的分離の方が良いと思う。

自転車道にすると、歩道との間に物理的構造物を設置する必要がある。通行区分として歩道の中で自転車の区分を明示するという方法だと、自転車道でなく、自転車歩行者道の中で自転車の通行区分を明示するという整備方法になる。法的な担保を取る自転車道を目指すことにこだわるのかどうかも決めなければならない。また、ケヤキの移植は難しいという話について、意見を伺いたい。

今の計画では、植栽帯を広げたり、側道部分を歩道や自転車道に配分したりしている。ケヤキの枝が相当広がっていて、サクラを被圧しているのが現状であり、これ以上ケヤキとサクラの間隔を狭めてしまうと、ケヤキを相当間引く必要が出てきてしまうと思う。ただ、ケヤキの診断をした中で危険木であれば、伐採していかなければいけない。

また、現在計画している歩道の幅員はケヤキの植栽柵を合わせて8.5mあり広幅員であることから、ケヤキの伐採後補植する際に、ケヤキの植栽柵の位置を前後するなど柔軟な対応により、歩行者の動線が曲線を描くような形態を検討できるのではないか。景観的にも、少し曲線の動線を作ると良いと思う。さらに曲線部にはベンチを設置して憩いの空間とする等の演出もできる。

西門エリアは、自転車と歩道が物理的に分かれていない区間があり、自転車が歩行者の通行部分を走ったりしている。自転車と歩行者は、きっちり分けた方が安全だと思う。

落ち葉に関しても、少しでも構造物があるとそこに溜まるので、きれいに管理することができる。安全面でも美観的にも、縁石はあった方がよい。

歩行者と自転車はきっちりと分けた方がよいと思う。現に歩行者と自転車がぶつかって、歩行者の方が大怪我をしたり、亡くなったりしている事故もある。市民まつりでの出店に関しては、365日のうちの2日間の話なので、そのために縁石を設置しないというのはおかしいと思う。市民まつりの出店の仕方については、今後話し合っていくということでも良いのではないか。

歩行者と自転車の分離は、突起物でなくても分けられるのではないか。例えば自転車道と歩道の高さを変える等の方法があると思う。

今回の案ができない場合にはどうするのか。絶対にこの案でいくのか、できない場合は道路管理者が適宜判断するということなのか。

今回みなさんから意見をいただいて市がまとめたいのは、「市役所さくら通りをどのような考えで整備するか」という整備の方針である。4つの方針に関してはある程度方向付けが決まったと思う。現実的にできるかどうかは、沿道の地権者の方やお店の方の意見を聞かなければならないと考えており、今後、検討会で合意を得たこの方針を地域に説明する。検討会で大きな整備の方針を決めて、地域への説明を行った後、次の段階で現実的な形を示していかなければいけないことだと思う。

ケヤキは竹箒を逆さにしたような形が自然だが、市役所さくら通りのケヤキは、サクラ等の影響により不自然な形をしている。ケヤキは市の木なので無碍にはできないという考えもあるが、適正な維持管理をして、自然なケヤキの形になるように間引きをしてあげないとかわいそうだと思う。

今回提示された側道をなくした案は賛成である。また、荷捌きスペースの議

論があったが、交通規制に関わることなど警察の方もご協力いただければ、良いものができると思う。

4つの方針の方向性については、概ね合意が取れたと思う。自転車道と歩道を分離する縁石の件が課題であると考えている。市民まつりは1年のうちのたった2日だというお話があったが、市民まつりにはとても多くの方が来るので、そこは慎重に考えざるを得ない。

縁石に関して、市民まつりの際に縁石の有無で出店スペースが分かれると思う。縁石があまり高いと困るが、金魚すくい等は縁石がないところ、飲食は縁石があるところを割り当てる等、出店の割り振りを考えれば、縁石があっても問題ないと思う。

3. その他

次回の日程：7月中に日程調整を行い、8、9月頃を開催する。

以 上

市役所さくら通り（市道市役所前通）道路改良検討会
委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	伊藤 紀子	F . C ボランティア		出席
2	浦上 裕史	西門地区商業地活性化協議会		出席
3	佐藤 匠	相模原市民まつり実行委員会		出席
4	佐久間 大輔	相模原警察署交通第一課		出席
5	代田 昭	中央地区自治会連合会		欠席
6	竹田 幹夫	星が丘地区自治会連合会		出席
7	内藤 研二	N P O 法人みどりのお医者さん	副会長	出席
8	山田 利明	社団法人倫理研究所 家庭倫理の会相模原市		出席
9	横山 房男	相模原中央商店街協同組合		出席
10	匂末 敏男	相模原市役所都市建設局土木部	会長	出席